

聖岳

年越し登山

2018年12月30日（日）～2019年1月2日（水）

L：K、久保田J、廣瀬、鈴木K（記）

聖岳に行ってみないか？年末年始の山行をどうしようかと悩んでいた私に廣瀬さんが声をかけてくださった。

聖岳？3泊4日？登ることが出来るのだろうか？私に。

初級雪山講習を受けたとはいえ、初めての本格的な雪山。

初めての3泊に及ぶテント泊。

初めて背負う20kgを超える荷物。

初めて尽くしで不安も大きいですが、それでも冬の聖岳に登ってみたい。

そう決意して参加させていただくことにした。

2018年12月30日 晴れ

登山口となる沼平ゲートに暗いうちに到着。すでに車が何台か停まっていた。明るくなるのを待って、8時ごろに出発。ゲート脇にある指導センターに登山届けを出すと、私たちの前に4組ほど聖岳に向けて登っていると教えてくれた。

まずは4時間程林道を歩く。天候は快晴で林道に雪はなく、風も穏やかで秋山を

登っているようだ。背中荷物の重さが気になるものの、順調に歩いていく。



《林道には全く雪が無い》

3時間以上歩いたところで、赤石ダムが見えてきた。見ると湖面が凍っている。さすがに寒いみたいだ。



《湖面が凍っている》

ダムを越えたところで聖沢登山口が見えてきて、ここからが本格的な登りになる。40分ほど歩いたところにある小屋跡の手前で登山道が崩落していたので、高巻いて越える。登りよりも下りのほうが大変そうだ。

本日の幕営予定地には雪がなさそうなので、小屋跡の近くにある水場で水を調達して尾根にとりつく。

ここから一般の登山道から外れ急登になった。背中の荷物が重く、なかなか足が前に進まない。

なんとか1700m付近にある平らな場所にたどり着き、1日目はここでテントを張った。まだ、雪は見えない。

沼平ゲート 8:00 →

聖沢登山口 12:30 →

出会所小屋跡 13:10 →

1700m 地点 15:30 (幕営)

2018年12月31日 晴れ

2日目も晴れ。風もなく非常に穏やかだ。朝食を取って7時30分ごろ出発。道は急登なうえに不明瞭（というか、道がない）。登りは上へ上へと行けばよいのだが、下りは道迷いに注意が必要だ。



《このような道？がずっと続く》

廣瀬さんがこういう道を歩くときは、特徴的な岩や景色を覚えておいて迷わないようにしなくてははいけないと教えてくれた。

2000mを超えるくらいから雪が見えてきた。例年よりもだいぶ雪が少ないようでKさんは物足りないようだが、私としてはありがたい。

ジャンクションピークを越えて、聖岳東尾根にはいると本格的な雪道になった。先行者の踏み跡があるのだが、歩くとすぐに埋まる・・・這い出して少し歩くとまた埋まる・・・。他の方たちに比べて私はすぐに埋まってしまう。歩き方が悪いのだろうか？



《雪道に悪戦苦闘》

あまりに埋まるのでワカンを履くことにした。初めて履くワカンで上手く歩けるか心配だったが、効果はてきめんで、だいぶ楽に歩けるようになった。

白蓬の頭に到着すると視界が開けて周りの山々が見えてくる。目の前には赤石岳の雄姿が！こうなると俄然テンションが上がってくる。



《赤石岳が目の前に》

白蓬の頭を越えた先にある森の中で2日目のテントを張る。

前日と違い、雪を溶かせばいいので水を運ぶ必要はなかったが、雪の上は寒い。とても寒い。この寒さで眠れるのか心配だったが、寒さよりも疲れが勝っていた

のか、それなりに眠ることが出来た。



《雪の上のテントは寒かった》

幕営地 7:30 →

白蓬の頭 14:30 →

白蓬の頭先の森 15:00 (幕営)

2019年1月1日 晴れ夜半より雪

3日目は2019年元旦。初めて山中で迎えるお正月だ。Kさんがお餅をつかって雑煮を作ってくれた。雪の山中でお雑煮が食べられるとは！！

天気は相変わらず快晴。お雑煮で体があまったところでアイゼンをつけて7時ごろ出発する。

まずは必要な荷物だけをもって、聖岳山頂を目指す。

テント場から少し登ると木々が無くなってきて展望が開けてきた。

振り向けば富士山。そして初日の出だ。



《富士山と初日の出》

森林限界を超えるとやや風が強くなってくるが、冬山としては全然きつくなく穏やかだという。たしかに廣瀬さんに教えてもらった耐風姿勢を使う場面は無く、両端が切れ落ちているところを通過した時も、飛ばされそうになる怖さは無かった。その代わりに、滑って落ちないように注意しながら歩く。

奥聖岳の手前で、岩の急登が出てきた。アイゼンが利いているものの、注意しながらゆっくりと登る。これを登れば奥聖岳はもうすぐだ。



《奥聖岳山頂と富士山》

奥聖岳までくれば目標の前聖岳までは緩やかな道を行くのみ。今まで苦労して歩

いてきたご褒美の様だ。



《奥聖から前聖へのご褒美ロード》

2019年1月1日、9時頃。遂に聖岳山頂に立つことが出来た。



《聖岳登頂！！》

北には赤石岳の威容。南には上河内岳や光岳へ続く稜線。東には富士山。360°山しかない。

しばし景色を堪能し、登頂の余韻に浸った後、下山に入る。先ほど登った急な岩場を慎重に下りる。登るより下りるほうがよっぽど怖い。

テント場まで戻ってきたらテントを撤収し、アイゼンをワカンに履き替えて、来た道に戻っていく。

ジャンクションピークまで来たところで

13時過ぎ。ここらへんでテントを張るか一気に降りるか悩んだが、一気に降りることにする。

ここを降りると雪が無くなるので、初日に水を汲んだ小屋跡まで降りなくてははいけない。

ジャンクションピークを越えてしばらく下ると雪が無くなってきた。雪が無くなると先行者の踏み跡が不明瞭になり、どこを通っていいのかわからなくなる。2日前の記憶を思い出しながら降りていくが、何回か違う方向に降りそうになってしまった。

こういうところでは地図と方向を確認しながら慎重に下りていかなくてははいけないと思った。

周りが薄暗くなってきた 17 時ごろにテント場に到着した。スタートから 10 時間歩いてきたことになる。

暗くなる前に到着出来てよかった。夜に雪がちらついてきたが、テントの中は雪の上だった昨日に比べれば全然寒くない。

最終日ということでお酒を飲んで、この日はゆっくり眠ることが出来た。

幕営地 7:00 →

奥聖岳 8:30 →

前聖岳 9:00 →

ジャンクションピーク 13:00 →

出会所小屋跡 17:00 (幕営)

2019年1月2日 晴れ

4日目。昨夜から降っていた雪は止んでいるが、周りが雪景色になっている。

今日はスタート直後に崩落地帯を渡ることになる為、ハーネスとアイゼンをつけて7時ごろ出発する。

崩落地帯では廣瀬さんとKさんがロープを通してくれたので、それをたよりに降りていく。ロープに体を預けることはなかったが、やはり安心だ。



《安全確保》

崩落地帯を越えた後は普通の登山道。道もわかりやすく、スイスイ降りていくことが出来た。

聖沢登山口まできたら後は林道歩き。



《林道も雪が積もっていた》

行きは余裕で歩いていた気がするのだが、
帰りはひたすら長かった。

肩も痛いし、脇腹も痛けりゃ足も痛い。
全身の痛みと疲労に耐えながら林道を歩
くこと 4 時間。ようやく沼平のゲートに
到着した。



《戻ってきた！！》

帰りは接阻峡温泉に浸かって疲れをいや
す。久しぶりの風呂はとても気持ち良か
った。

幕営地 7 : 00 →

聖沢登山口 8 : 30 →

沼平ゲート 13 : 00

初の本格的な雪山で聖岳。どうなること
かと思っていたが、同行者と天候に恵ま
れて無事に登頂することが出来た。とて
も幸運だったと思う。

私としては雪道の歩き方やワカン・アイ
ゼンのつけ方、地図の読み方等課題が
色々あったものの、達成感の高い山行と
なった。